

2017年9月17日 茅ヶ崎教会での分かち合い（マタイ18：21～35）

ごミサの前に、「聖書と典礼」に目を通されて、今日のテーマは何だと思われましたか？ 集会祈願は「分裂と争いに悩む世界に、あなたはゆるしと和解の道を示してくださいました。キリストに従う者として、互いに受け入れ合い、神の愛を表していくことができますように。」

第一朗読シラ書は「自分と同じ人間に憐れみをかけずにいて、どうして自分の罪のゆるしを願いえようか。」

答唱詩編では「神は私の罪を赦し、痛みを癒される。神は恵み豊かに、あわれみ深く、怒るに遅くいつくしみ深い。」と。

いつくしみとゆるしがテーマだと分かります。大切だとわかっているが、これを生きるのには、なかなかむづかしいと思われる方も多いのではないのでしょうか？

今日の福音書では、ペトロがイエス様にゆるしについて、7回までですか？ とたずねます。ユダヤ教では、神は人間の同じ罪を3度までなら許してくださると考えていました。ですからペトロは3回でなく、7回という素晴らしい考えを示したのですが・・・イエス様は70倍までも赦せと言われます。

福音でイエス様は、「**天の国**」ではと、王に借金のある家来について話されます。天の国ではと、わざわざ言われていることは、洗礼を受けてイエス様と歩みを共にする決意をしたわたしたち、神の民へ向けられているのではないのでしょうか。

この王は神様であり、王であるキリストで、家来はわたしたちです。神様とわたしたちの上下関係で、借金について1万タラントと100デナリオン。（脚注：普通の労働者の十数万年分の賃金に相当する。1万タラントは想像もできないほどの、天文学的な金額です。）

（蛇足：ヘロデ大王の年収が900タラント。奴隷一人の売却額が500デナリオン。1デナリオンはローマの銀貨で、一日の日当にあたる。タラントはギリシャで用いた単位で、6千ドラクメで6千デナリオン。1万タラントは6千万デナリオン。日当を1万円とすると、6千億円？・・・新共同訳聖書の後ろに度量衡の表があります。）

王と家来の借金の話は上下関係です。そして、王に借金を赦してもらった家来は、「私がお前を憐れんだように、お前も自分の仲間を憐れんでやるべきではなかったか。」⇒ と、言われ、仲間同士の関係と比べられます。私たち教会に集う一人一人との関係が問われているのではないのでしょうか。

「あなた方のひとりひとりが心から兄弟を赦さないなら、私の天の父もあなたがたに同じようになさるであろう。」天の国、神の国へ向かって共に旅をしている仲間にたいしての態度が問われます。

(アーミッシュの赦し・・・解放され人生を生きるために)

2006年10月、11年前にアメリカのペンシルベニア州のアーミッシュの地区の小学校で銃の事件が起き、5人の少女が死亡、5人が重傷を負いました。犯人のロバーツは銃で自殺しました。アーミッシュの人々は文明の利器、車やITなどを使用しないキリスト者のグループで平和に暮らすことで有名です。

殺された子供たちの家族はアーミッシュのメンバーです。事件のあった夜に被害者の家族の何人かが犯人の奥さんの所へ行って、私たちが生きるために、犯人を赦すことを伝え、5日後の犯人の葬儀にも参加しました。それは、被害者の方たちは「**苦しみや悲しみを抱えて生きて行けないので、犯人を赦すので、犯人の奥さんにも生きて下さい**」と告げました。「**愛と赦し以外のものが心の中に一杯あると人は生きてゆけない。私も赦されたので赦すのは当然です。**」このアーミッシュの方々の方々の行動について、世界から賛否両論の様々な意見が出されました。皆様も様々なお考えがあるでしょう！

イエスの復活を信じているわたしたちは、イエスの愛が私の中にあったら、何があっても生きてゆける。イエスの復活は私が生きるため、私の中に愛があるので、開放されて自由に生きることが可能ということではないでしょうか。

今日のアレルヤ唱で、「新しいおきてをあなたがたに与える。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように。」とあります。愛もゆるしも神の恵みによって可能です。